※令和３年度以前入学生用

学校番号	317

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	『令和５年度版　情報処理技能検定試験　表計算　模擬問題集２・準２級編』 （日本情報処理検定協会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報技術専門コースで学んだ知識や技能を活用し、実践的・体験的な学習活動を行います。

・情報産業に関する課題を発見し、解決策を想像・探求する力を養います。

・課題を解決する力を向上させ、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

２　学習の到達目標

・情報産業に関する課題を自ら設定し、主体的かつ協働的に取り組むことができる。

・専門的な知識や技能を活用し、デジタルコンテンツ制作に取り組むことができる。

・既存企業や業界で発生しうる諸課題を想定し、解決しようとする取り組みができる。

・情報処理等の技能検定において、表計算３級相当に合格する力が身につく。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報分野の諸課題について関心をもち、その解決方法を考え、改善・向上を目指す取り組みができる。また、主体的で実践的な取り組みができる。	情報分野の諸課題について思考力を高め、基礎的・基本的な知識や技能を応用し、適切な表現方法を選択することができる。また、創造的な表現ができる。	情報分野に関する基礎的・基本的な技術を、諸活動において適切に活用することができる。また、活用場面では合理的で計画性がある。	情報分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における情報産業の意義や役割について理解している。
評価方法	授業観察 課題の難易度設定 発表 自己評価・相互評価	実習で制作した課題 発表 自己評価・相互評価	実習で制作した課題 発表	実習で制作した課題 課題の難易度設定 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	職業資格の取得	○表計算4級相当の学習 ・文字・数字の入力 ・列幅変更 ・計算式 ・合計・平均関数 ・体裁処理	○		○		a:基礎的な設問を理解し、解決方法を考えることができる。 c:基礎的な設問に対し、適切に解決することができる。	授業観察 制作課題
	作品制作	○調査・研究・実験 ・基本的な機能を使用したプレゼンテーション資料の作成。		○		○	b:ユニバーサルデザインを意識した課題制作ができる。 d:プレゼンテーションソフトウェアの機能を理解している。	制作課題 発表 小テスト
2学期	職業資格の取得	○表計算3級相当の学習 ・判断文 ・絶対参照 ・構成比率の計算 ・データベース関数 ・体裁処理 ・ソート	○		○		a:応用的な設問を理解し、解決方法を考えることができる。 c:応用的な設問に対し、適切に解決することができる。	授業観察 制作課題
	作品制作	○産業現場を想定した実習 ・聞き手の理解を促すプレゼンテーション資料の作成		○		○	b:産業現場を想定した課題制作ができる。 d:プレゼンテーション技法を理解し、活用することができる。	制作課題 発表 小テスト
3学期	作品制作	○視覚効果を活用した課題 ・図形・表の加工などのデザインに重点を置き、グラフ・アニメーションなどを総合的に活用する。	○	○	○	○	a:意欲的に課題制作ができる。 b:視覚的に効果的な表現方法が活用できる。 c:様々な視覚効果を組み合わせて活用することができる。 d:社会におけるデジタルコンテンツの役割を理解している。	授業観察 制作課題 制作課題 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。